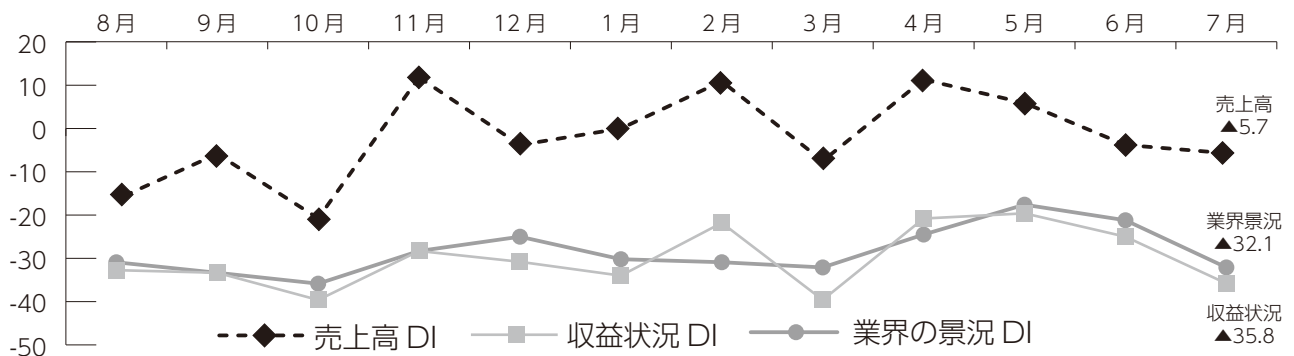


コスト上昇に加えコロナ再拡大に伴う業況悪化の懸念が強まる

概況

依然として原材料及びエネルギー価格の高騰に歯止めがかからず、多くの業種で収益状況は雨模様となった。加えて、コロナの再拡大により生産現場の人員配置等への影響や、改善傾向にあった旅館及び飲食店ではキャンセルが発生するなど業況悪化の懸念が強まる。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☀	☁	☀	☁	☁	☀	☀	☁
	窯業・土石	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☀	☁	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☀	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☀	—	☁	☁	☀	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
 DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 売上は横ばいの中、原材料及びエネルギー価格が上昇しており収益状況は悪化した。販売価格の更なる値上げを検討する企業が多くみられる。</p> <p>[菓子] 人の動きが増えたため売れ行きは好調であったが、度重なる原材料価格の上昇を受け収益状況は悪化した。</p> <p>[めん類] 売上は悪い状況から脱していないが、早い梅雨明けと猛暑に加え、行動制限が無かったことも後押しし商品の動きが良好であった。</p>
織 維 製 品	<p>[織物] ゆかた関連はコロナ再拡大の影響もあってか引き合いがなくなり厳しい状況。一方、絹商品では多少活発な動きがみられる。依然として原糸価格が断続的に上昇しているが転嫁は思うように進んでいない。また、既存の加工所が閉鎖となり、別会社に発注することで加工コストが上昇する企業もみられる。</p> <p>[外衣・シャツ] 忙しさが増し売上が増加するも、原材料及びエネルギー価格が高騰しており収益状況は悪化。転嫁は追いついていない状況。</p> <p>[刺繍] 売上高は変わらないが、原材料価格高騰により収益状況は悪化。</p>
窯業・土石	<p>[コンクリートブロック] 原材料価格が上昇する中、9月に更なる値上げが実施されることを懸念している。</p> <p>[生コンクリート] 民間工事需要の高い県央・東毛地域が好調。一方、公共工事が多い山間地域は大型工事が少なく引き続き低調。セメント価格の急騰に対する価格転嫁が急務となる。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 自動車関連の受注状況は引き続き低迷している。価格転嫁については、対中小企業はスムーズに進むことが多いものの、一部大企業からは転嫁に対するエビデンスを要求され難航している。</p> <p>[自動車関連] SUBARUでは突発的なライン停止は無かった。トヨタ、ホンダ、日産では減産による低調が続く。下請企業では販売価格の上昇が散見されるも収益状況は悪化。</p> <p>[機械金属(高崎市)] 円安や原材料不足、原油価格の高騰により仕入コストが大幅に上昇しているため、経営環境は下降線を辿る。コロナの再拡大によって生産現場の人員配置に影響が出ている。</p>
そ の 他	<p>[製材] 荷動きは悪化し、生産コストは大幅に上昇しており、収益状況は悪化した。</p> <p>[紙製品] 転嫁はほぼ受け入れられ活発な動きがみられる。しかし、秋から更なる原材料の値上げが通知されていることに加え、エネルギー価格の高騰も深刻化している。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[再生资源] 鉄スクラップの発生量は低調で、電炉メーカーでは電力需給問題もあり夏季減産しており、需要は低下してる。古紙については集団回収の回復は鈍い。古紙価格は輸出向けは下がり、国内向けは横ばいの見込み。</p>
小 売 業	<p>[生花] ホームユース用は猛暑の影響もあり動きが鈍かった。また、コロナ再拡大によるイベントの中止はあまりなかったが、注文のキャンセルは幾つか発生した。</p> <p>[中古自動車オークション] 久しぶりに出品台数が前年を上回った。試験的に車両情報と画像データのみでセリを行ったところ、まずまずの成約数が得られた。</p>
商 店 街	<p>[前橋市] 猛暑、降雨、コロナの再拡大、仕入価格の上昇と4重苦。七夕祭りでは若者を中心に賑わいがみられた。</p> <p>[高崎市] コロナ再拡大の影響で飲食店ではキャンセルが発生し売上減少となった。仕入価格上昇に伴い小売店では値上げする商品も増えてきている。</p>
サービ 業	<p>[四万温泉] コロナの再拡大によって幾らかのキャンセルは発生したが、厳しい外出自粛要請が行われなかったことで極端な落込みはみられなかった。原材料やエネルギー価格が上昇しており、宿泊料金の見直しを検討する旅館がみられる。</p> <p>[不動産取引] コロナの影響もあり住宅購入の意欲は低下し、業況は悪化している。この状況はしばらく続く模様。</p>
建 設 業	<p>[建設] 工場・事務所・倉庫等の民間非住宅建設は回復基調にあるが、住宅需要は資材価格高騰を受け減少の見通し。</p> <p>[鉄骨工事] 鉄骨材料の価格上昇に対する転嫁は理解を得られるようになったが、溶剤やエネルギー価格までは反映しきれていない。鉄骨価格の上昇による需要の冷え込みを不安視。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 猛暑の影響で飲料水関係の荷動きは好調で繁忙感がみられるも、その他は低調に推移。燃料価格の高止まりが続く厳しい状況にある。</p> <p>[貨物軽自動車運送] コロナ再拡大の影響もあってか、全体的にスポット依頼が激減。</p>

※本調査は、情報連絡員55人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。